

論文審査の結果の要旨

報告番号	博(医歯薬)甲第 75 号	氏名	佐藤 修身
学 位 審 査 委 員		主 査	近藤 宇史
		副 査	関根 一郎
		副 査	江石 清行
論文審査の結果の要旨			
1 研究目的の評価 本研究は、インスリン抵抗性とアンギオテンシン II (Ang II) が心血管や腎の組織障害に及ぼす影響を検討しようとしたもので、目的は十分に妥当である。			
2 研究手法に関する評価 Antisense growth hormone (GH) を用いて GH-IGF-1 を抑制した長寿ラットに皮下移植浸透圧ポンプを用いて Ang II を持続注入し、4 週後に循環器の機能評価を行うとともに、心臓と腎臓を摘出して組織の線維化の評価と遺伝子発現を検討したもので、研究手法も妥当である。			
3 解析・考察の評価 上記手法で解析した結果、GH-IGF-1 を抑制することでインスリン感受性を増加させたラットではコントロールと比較して、Ang II を持続注入することで生じた腎臓の線維化が少なく、かつ TGF-β1 の発現が低下していた。心の線維化や昇圧反応性には両群で差は認められなかった。生活習慣病による臓器障害の治療や病態研究への進展が大いに期待される。			
以上のように本論文は循環器病学研究に貢献するところが大きく、審査委員は全員一致で博士（医学）の学位に値するものと判断した。			

(